



特42

879



是角が一向子雨あふ糸
 細玉目まらるるは室中紙
 附之りしは角いむ小大
 言が形とあちあれあち
 り紙白の甚だまをぬる
 お惚ト入巻と南座へ
 お出あれ何れは内あち
 ね中はと埃投区
 て別はなるおも

大高源吾

是月十四日源吾の義孝の
 一個あて吉良家へ付入
 夕七あけに麻衣の次



つきとまひつるは角の何れ
 元巻室中紙
 室中紙
 水の流れと人の身ハト
 源吾義孝
 七痛区
 小大者
 も久
 ぶりあ
 面まお紙あちま零令
 せと心入さるあちとる

室井其角





大高上
 新築の
 建築は
 年の内小
 接花せん
 とのりあり
 後小二十間

◇有各ふる山田家退
 としる家近の門入と
 多のけたを修め
 自一が世積の積
 ありる如く好き
 こそおの上と
 やうけの外小
 上達せしより味
 の家備と然ともお
 とりく法家へお
 家の中の中石の
 重良家へはたて業



大高上
 新築の
 建築は
 年の内小
 接花せん
 とのりあり
 後小二十間

大高原五



大高原五
 新築の中ありはねがた
 女まきき
 の大高上
 大高原五
 新築の中ありはねがた
 女まきき
 の大高上

つぎ 大高上 徳れども
 何れも武臣たる所
 考へまされど
 形も風雅不
 りある者こそ
 あり
 八つてん
 之は美



大石良雄

大高源五郎

△大高源五郎 大高上 徳れども
 拒まざるを其のうらやま
 不審極の門人となり
 家へ
 主人の御海
 容子にまかせ
 妻と密書と
 多く大高上



△大高上 徳れども
 町人仲ふ交と

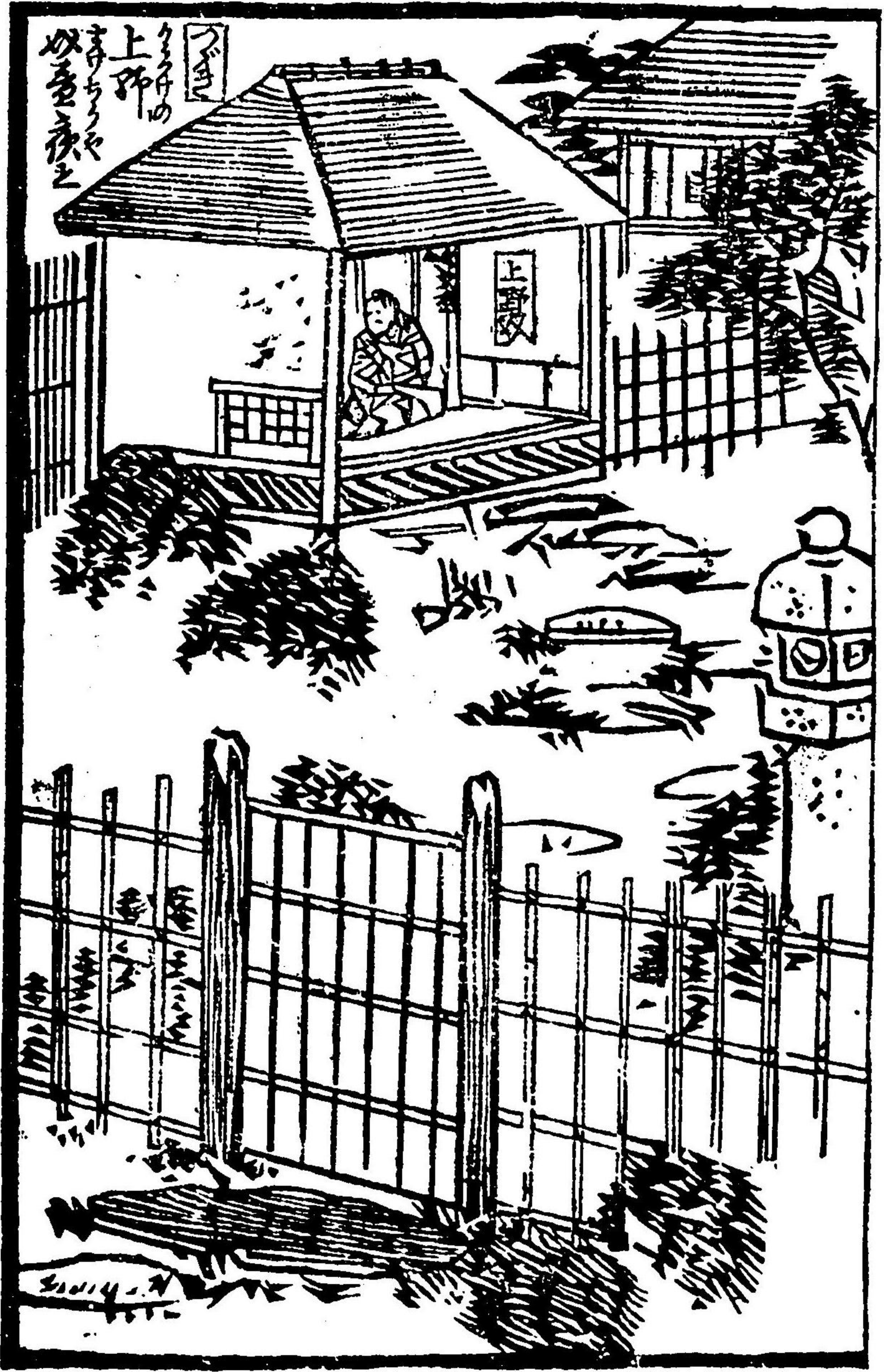
山田 宗偏
 の方へ
 取所



大石主税

おの 大高上 徳れども
 拒まざるを其のうらやま
 不審極の門人となり
 家へ
 主人の御海
 容子にまかせ
 妻と密書と
 多く大高上

おの 大高上 徳れども
 拒まざるを其のうらやま
 不審極の門人となり
 家へ
 主人の御海
 容子にまかせ
 妻と密書と
 多く大高上



六十一

○ 地本
繪双紙 問屋

中しぐ松
りさす
おをぶろ
伊勢屋
大西庄之助版

東京日本橋區松島町水天宮前

